

日本福祉大学 2021 年度論文掲載料補助 報告書

論文著者 所属・職 : スポーツ科学部・准教授
 氏名 : 西村 直記
 論文題名 : Gravity-Induced Lower-Leg Swelling Can Be Ameliorated by Ingestion of α -Glucosyl Hesperidin Beverage

単著・共著の区別	共同執筆（筆頭執筆者）
掲載雑誌名	frontiers in Physiology
掲載雑誌 IF (インパクトファクター)	4.566
掲載ページ	1-7
掲載雑誌 URL	https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fphys.2021.670640/full
発行年月日	23 June 2021
雑誌出版社	Frontiers Media S.A.
論文抄読	<p>1. 概要</p> <p>本研究は、毛細血管での体液の透過性を抑制する作用を有する 4G-α-グルコシルヘスペリジン (G-Hsp) を含有する飲料の摂取が、下腿部の浮腫みを改善する効果があるか否かについて検討した。</p> <p>2. 方法</p> <p>健常成人女性 9 名 (年齢: 43.4 ± 2.6 歳) を対象とした。G-Hsp 飲料またはプラセボ (P) 飲料 100mL とミネラルウォーター 100mL を摂取させた後、椅座位姿勢で 6 時間の安静を保たせた。その際、下腿部のインピーダンス (水分含有量の指標)、皮膚温、皮膚血流量および周囲長を測定した。</p> <p>3. 結果</p> <p>6 時間の椅座位姿勢によるインピーダンスの低下は、P 飲料摂取時と比較して G-Hsp 飲料摂取時でより抑制される傾向がみられた ($p=0.053$)。足関節周囲長 ($p=0.004$) やふくらはぎ周囲長 ($p=0.043$) の増加は、G-Hsp 飲料の摂取により有意に抑制された。また、数名の対象者では、G-Hsp 飲料摂取 6 時間後においても皮膚温の上昇が認められた。</p> <p>4. 結論</p> <p>長時間の椅座位姿勢により引き起こされた下腿部の浮腫みは、G-Hsp 飲料摂取により軽減できることが明らかとなり、エコノミークラス症候群を予防する一助となる可能性が示唆された。</p>